

大田県議の質問(続き)

保育士の処遇改善を

大田県議は、月額5000円から4万円を加算する「処遇改善加算Ⅱ」について、保育現場から「同じ経験年数でも対象になる人とならない人があり、職員間であつれきを生んでいる」「一部の職員のみ対象になることから、使いにくい制度だ」などの不平や不満の声が多数寄せられていることを紹介した上で「改善されるべきもの」と訴えました。

吉川敏彦健康福祉部長

尾村県議の質問(続き)

憲法9条を生かした県政を

尾村県議は、北朝鮮の核・ミサイル問題で、「対話のための対話は意味がない」と「対話否定論」を繰り返している安倍首相を批判。国に対し、憲法9条の精神に立った「対話による平和的解決」を図るよう強く求め、県として憲法9条を生かした平和行政を推進するよう強調しました。

溝口善兵衛知事は、国際社会が結束した圧力強化を求めた上で「戦争などに至らないよう対応することが必要。県として国際交流と平和教育の観点からもやっていきたい」と答弁しました。

げと職員配置基準の抜本的な改善こそ必要と強調。「保育現場で頑張っているみなさんに寄り添って、保育行政をすすめてほしい」と要求しました。

実態に即した保育時間認定を

2015年4月からスタートした「子ども子育て支援新制度」では、保育時間の認定は11時間の「標準時間」と8時間の「短時間」の2つに区分されることになり、現状では市町村によって、認定状況に差が生じています。

大田県議は「就労時間に加えて通勤にかかる時間等を考慮して認定がなされているのか」「市町村によって機械的に認定

尾村県議の質問(続き)

「介護の危機」打開を

また、尾村氏は10月に北広島町上空で米軍機が火炎弾「フレア」を発射したことや、美保基地へのC2輸送機、空中給油機配備など日米軍事一体化の危険な動きを紹介。米軍機のフレア射出訓練と無法な低空飛行訓練中止、美保基地の軍備機能強化の中止を強く求めました。

尾村県議は「介護報酬マイナス改定で施設独自の改築・耐震改修は厳しい」「(特養ホーム施設長)、「利用料が1割から2割になり、サービスを半分に減らした」(利用者)、「処遇改善を望む」(労働者)などの切実な声を紹介し、介護保険の建て直しを求めました。

尾村氏は、特養入居希望者の中には、高額なユニット個室よりも、低額な多床室を希望する入

いるみなさんに寄り添って、保育行政をすすめてほしい」と要求しました。

農産物の所得補償制度創設を

尾村県議は、新潟県が今年度から県独自で営農条件が不利な中山間地域の集落営農組織に10万円当たり15000円を支給する「公的サポート」モデル事業を実施していることを紹介し、島根でも中山間地農業を支える所得補償制度の創設を決

地域の話題

食の幸発信拠点事業 上代議員が質す

木次町に計画されている「食の幸発信拠点事業」は、新たに加工施設、食品の直売、飲食できる施設を建設するとされています。本事業は平成28年に基本計画、平成30年度に基本設計というスケジュールとなつていますが、事業規模や財政的な裏づけがはつきりしていません。

上代議員は「市場規模が小さい雲南市では他の類似施設と競合するのではないかと」「既存の加工業者から設備を整えてほしい」との要望も出されている。新しい財政運営の中、新たな施設建設ではなく、いま

沖縄の基地闘争―過去、現在、未来―

沖縄と連帯する島根の会 沖縄ツアー―日記③

「沖縄と連帯する島根の会」の中林佳子さんの呼びかけで9月12・15日・3泊4日の沖縄ツアーが企画されました。松江から11人、出雲から3人の計14名が参加しました。(文責・YU)

9月14日(木) 嘉手納、普天間も見学

喜瀬武原の島袋里奈さん(ジョギング中米兵に殺害)の死体遺棄現場に出かけ献花しました。日米地位協定の見直しは沖縄県民、国民の声でしたが、軍属の範囲を縮小するだけの小手先の決着となりました。キャンプハンセン正門

というのもあったそうです。投降を促す英語を解する人がいたからとの説明がありました。

ひめゆりの塔にて献花

の前には飲食街。事件後は夜間外出禁止と厳しい措置も取られたようですが、今はゆるゆるとのこと。

沖縄入りしたその日に83人の集団自決があった読谷(よみたん)村のチビチリガマ(洞窟)損壊のニュースが入り、急遽立ち寄りしました。ガマが多く存在する地区で一人の犠牲も出なかったシヌクガマ

仁摩道の駅計画 福田議員が追及

福田議員は「仁摩道の駅は平成33年春のオープンをめざしている。産業振興拠点として期待がある一方、赤字経営となり、財政ひっ迫に拍車がかかる」との不安の声もある。年間利用者40万人は過大な見積もりではないか。

郷町のくらし守れ 中原議員が初質問

中原議員は「町民の高齢化で、耕作不能となった田畑が広がっている。国の福祉切り捨て、農業破壊政策が原因と考えるがどうか。」

町長「老々介護や農地管理が困難になってきていることは同感だ。国の制度と地域の実情がマッチしない場合、住民生活に影響を及ぼす場合は知恵と工夫を凝らした取り組みが重要と考える。(中原保彦の議会報告)より」

企画「くらしと命を守る 県政へ」はお休みします。

企画「くらしと命を守る 県政へ」はお休みします。